

令和6年2月15日

市民局区政支援部窓口サービス課

「住民記録システム等の標準準拠システム移行に係るコンサルティング業務委託」  
契約結果

住民記録システム等の標準準拠システム移行に係るコンサルティング業務委託について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

1 件名

住民記録システム等の標準準拠システム移行に係るコンサルティング業務委託

2 委託内容

住民記録システム及び印鑑登録システムの標準準拠システム移行に向けて、国の方針を注視しつつ、横浜市全体移行計画及び個別移行計画を踏まえ、標準準拠システム移行に関するコンサルティング業務を行う。

3 契約の相手方

アビームコンサルティング株式会社

4 契約金額

150,392,748 円

5 契約日

令和6年1月30日

6 評価結果

提案者	合計点	順位
アビームコンサルティング株式会社	1,878 点	1

7 評価基準・評価委員会開催経過等

(1) 評価基準

別添のとおり

(2) 開催日時

令和5年11月24日 9時30分から10時45分まで

(3) 開催場所

市庁舎18階 さくら14会議室

(4) 評価委員の出席状況

委員 6 名中出席者 6 名（充足率 100%）

**8 問い合わせ先**

市民局区政支援部窓口サービス課

電話 045-671-2177

提案書評価基準

1 評価事項

評価項目	評価の着眼点(評価基準)	評価			評価(A~C)	比重	評価点	上限配点
		A	B	C				
<b>1 実施体制</b>							0	計90点
1-1	要員配置の妥当性(要員確保)	本委託業務の担当者の人数は十分か	3名以上	2名以下		× 3	0	15
1-2	要員配置の妥当性(分担)	標準準拠システム導入に係るプロジェクト遂行のための分担が明確にされているか	いずれも明確にされ、複数の担当者が配置されている。	ACに該当しない	明確にされていない業務がある。	× 3	0	15
1-3	要員配置の妥当性(国又は地方公共団体のシステム導入・調達)	国又は地方公共団体のシステム導入・調達に関する業務経験を有する管理者・担当者がいるか	3名以上の経験者あり	ACに該当しない	経験者なし	× 3	0	15
1-4	要員配置の妥当性(クラウド・ネットワーク関連)	ISMAP※に登録しているクラウドへの移行、各種ネットワークの構築、外部インターフェースの調整等に係る業務経験を有する管理者・担当者がいるか ※ 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度	3名以上の経験者あり	ACに該当しない	経験者なし	× 3	0	15
1-5	要員配置の妥当性(プロジェクト管理)	プロジェクト管理に関する業務経験を有する管理者・担当者がいるか	3名以上の経験者あり	ACに該当しない	経験者なし	× 3	0	15
1-6	要員配置の妥当性(住民記録及び印鑑登録業務)	国又は地方公共団体の住民記録システム及び印鑑登録システムに関する業務経験を有する管理者・担当者がいるか	3名以上の経験者あり	ACに該当しない	経験者なし	× 3	0	15
<b>2 業務実績</b>							0	計50点
2-1	業務実績①	標準化の対象とされた20業務のいずれかについて、国又は地方公共団体の業務システムの開発、保守、運用支援、プロジェクト管理または調達支援等の本業務委託と同種・同類の業務の受託実績を有しているか	受託実績を5年以内に有している。	受託実績を有している。	なし	× 5	0	25
2-2	業務実績②	ISMAP※に登録しているクラウドへの移行、各種ネットワークの構築、外部インターフェースの調整等に係る業務実績を有しているか ※ 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度	クラウドへの移行等について、包括的な受託実績を有している。	クラウドへの移行等について、部分的な受託実績を有している。	なし	× 5	0	25
<b>3 業務実施手法</b>							0	計200点
3-1	業務内容①	業務概要(1) 標準準拠システム導入に係るプロジェクト管理計画の精度・具体性 進捗管理の精度・具体性	十分な精度、かつ具体的な分析が期待できる。	ACに該当しない	十分な精度、かつ具体的な分析が期待できない。	× 5	0	25
3-2	業務内容②	業務概要(2) 標準準拠システムでの業務フローや関連法令の改定、区ヒアリング等を踏まえた業務見直し方針の精度・具体性	十分な精度、かつ具体的な業務見直しの提案が期待できる。	ACに該当しない	十分な精度、かつ具体的な業務見直しの提案が期待できない。	× 5	0	25
3-3	業務内容③	業務概要(3) 事業者や関係課との会議・WGIにおける課題解決に向けた提案内容の精度・具体性	十分な精度、かつ具体的な提案が期待できる。	ACに該当しない	十分な精度、かつ具体的な提案が期待できない。	× 5	0	25
3-4	業務内容④	業務概要(4) 職員向け研修の支援体制が適切で、有用な提案が可能か	十分な精度かつ具体的な提案を研修に反映させることが期待できる。	ACに該当しない	十分な精度かつ具体的な提案を研修に反映させることが期待できない。	× 5	0	25
3-5	業務説明書等の理解度	本委託業務について、業務の見える化、業務改善の視点を取り入れ、的確に理解しているか	的確に理解しており検討が十分。	ACに該当しない	妥当でない。	× 5	0	25
3-6	委託業務に対する整合性	本委託業務への基本的な考え方と具体的な提案内容に整合性がとれているか	十分な整合性が取れている。	ACに該当しない	整合性が取れてない。	× 5	0	25
3-7	委託業務に対する具体性	本委託業務について具体的なかつ実現可能な提案ができていないか	極めて有効な工夫や提案が見られ、具体的かつ実効性が期待できる。	ACに該当しない	実現の可能性が低い。	× 5	0	25
3-8	委託業務に対する意欲	本委託業務への意欲があるか、また新たな提案が期待できるか	極めて意欲的である、また、新たな提案が期待できる。	ACに該当しない	意欲が低く、また、新たな提案も期待できない。	× 5	0	25

4 ワークライフバランスに関する取組							0	計5点
4-1	ワークライフバランスに係る取組状況	次のア〜カについて該当する項目があるか	3項目以上該当する	1項目以上該当する	該当項目がない	× 1	0	5
	ア 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定	該当: 策定し、労働局に届出ている(従業員101人未満の場合のみ加算) 非該当: 策定していない、又は策定しているが従業員101人以上						
	イ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定	該当: 策定し、労働局に届出ている(従業員101人未満の場合のみ加算) 非該当: 策定していない、又は策定しているが従業員101人以上						
	ウ 次世代育成支援対策推進法に基づく認定の取得(トライくるみんマーク、くるみんマーク、プラチナくるみんマーク、プラスマーク)	該当: 次世代育成支援対策推進法に基づく認定を取得している 非該当: 次世代育成支援対策推進法に基づく認定を取得していない						
	エ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし、プラチナえるぼし)の取得	該当: 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定を取得している 非該当: 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定を取得していない						
	オ 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	該当: 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得をしている 非該当: 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得をしていない						
	カ よこはまグッドバランス賞の認定の取得	該当: よこはまグッドバランス賞の認定を取得している 非該当: よこはまグッドバランス賞の認定を取得していない						
5 障害者雇用に関する取組							0	計5点
5-1	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成しているか	達成している(従業員43.5人以上)、又は障害者を1人以上雇用している(従業員43.5人未満)。	達成していない(従業員43.5人以上)、又は障害者を1人以上雇用していない(従業員43.5人未満)。		× 1	0	5
(評価点合計0点 /満点350点)								

## 2 選定について

(1) 次のように評価を行う。

ア 各評価項目において、評価委員はA(5点)、B(3点)、C(0点)で評価を行う。

イ 評価委員の合計点を最終評価点数とする。

ウ 3のいずれかの項目において評価委員全員がCをつけた事業者は選定しないこととする。

(2) 選定方法について

ア 当該事業実施希望者のなかから上位1者を選定する。

イ 複数の事業者が同点だった場合、「3 業務実施手法」の点数が高い事業者を選定する。

ウ イにおいて同点の場合、「3-8委託業務に対する意欲」の点数が高い事業者を選定する。

エ ウにおいて同点の場合、委員長がくじを引き事業者を選定する。